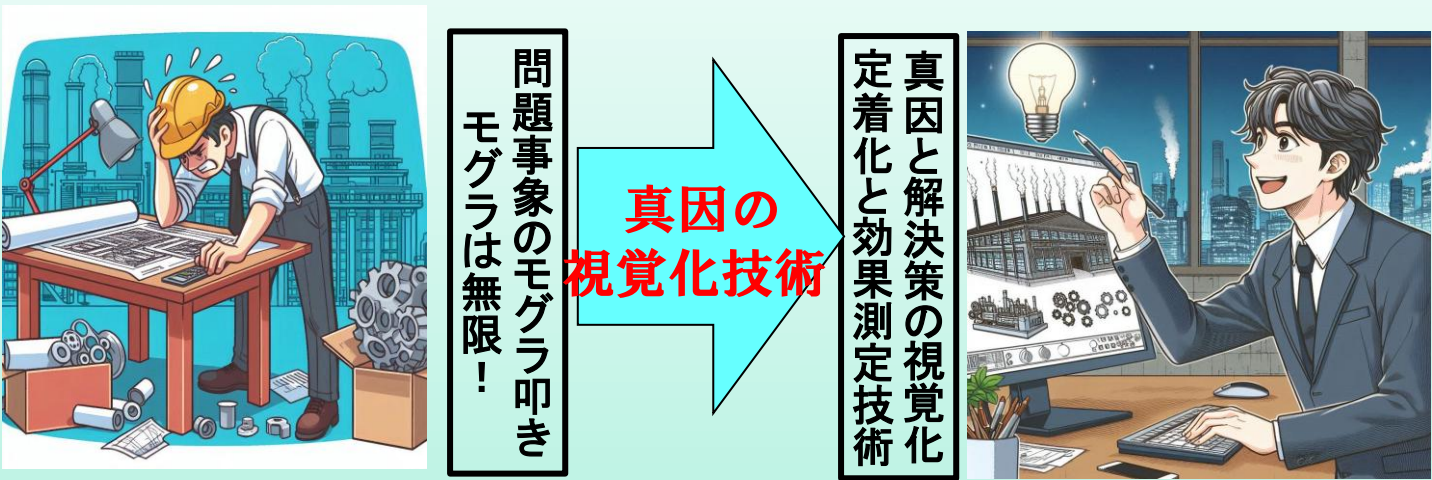


「DX推進のための分析／設計そして  
定着化&効果測定技術」講座の募集

この講座で習得出来ることは  
(注)  
8日間32時間の講義と1年間の大先輩SEからの助言で  
分析で真因を視覚化して設計&  
定着化／効果測定技術の習得



(注)大先輩SEとは、今回の講師で1年間、ご質問に助言します

「講座カリキュラム」2026/3/12～2026/4/30 全8回 毎週(木) 詳細はP3参照

- 受講対象者 ・ITベンダSE、情シス担当者、コンサル ・実務経験3年以上
- 受講形態 : ZOOM同時双方向型講座 (定員10名)
- 受講料 : 200,000円(税別)/人 (申請により受講料の助成がされます。添付P2ご参照)
- 中小企業は 受講料の57%の助成金 (実質受講料 95,400円)
- 大企業は 受講料の36%の助成金 (実質受講料 141,200円)
- 申込締切日 : 2026年 2月 12 日 (木曜日) (助成金締切日)



# お申込みはこちら

<https://kan-lab.com/contact-bunseki>

または、メール「[asguide@kan-lab.com](mailto:asguide@kan-lab.com)」宛に申込可能です

また、FAXでお申込みの場合は、必要事項をご記入の上、「0798-55-8779」へFAX送信ください。  
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。

申込締切日 2026年 2月 12日 (木)

## 参加ご希望記入欄

貴社名(必須)	ふりがな		
ご住所(必須)			
TEL(必須)		FAX	
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			

【お客様の個人情報の用目的】

お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。

また、第三者にこれを開示することはいたしません。

お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー(<http://www.kan-lab.com/policy.html>)に基づき、適切に管理いたします。

☐ 同意する

## 【本講座の特徴】オンライン同時双方向型セミナー

「問題事象」は  
「真因」ではありません！  
「真因」の対策が解決策です



では、「真因」は、  
どのようにして  
求めるのですか？

### 受講者の熱意にお応えします！(補講)

- ・希望者への復習の実施 落ちこぼれZERO！
- ・受講者の希望に応じて休日・深夜補講対応します

### ライブで質疑！ライブで演習の進捗指導！

- ・講義中に課題の進捗をチェックし、お声を掛けます

### 聞きのがした講義はいつでも視聴可能

- ・聞きのがした講義は、ホームページから再生可能

### 「質問シート」は、あなたの一生のメモ

- ・受講者の質問履歴、回答履歴は永久検索
- ・受講後も1年間の質問・助言を受け記録できます

### 大先輩SEからの助言

- ・今回の講師が1年間、ご質問に助言します
- ・必要に応じてZOOMでの面談も可能です

### 毎回受講者が抱える課題を解決

- ・受講者が抱える課題を講師に問い掛け、講師は解決BPR事例(700社)から解決策を提示します

参考HP: [厚労省助成金「人材育成支援コース」](#) [「事業展開等リスキリング支援コース」](#) 不明点はお気軽にお問い合わせください

- ①「人材育成支援コース」 : 社員の既存業務のスキルアップや社員研修を充実させる為の研修
- ②「事業展開等リスキリング支援コース」 : 新規事業の立ち上げ等の事業転換に伴う人材育成  
業務効率化に取り組むデジタルに対応した人材育成

※P1の「実質受講料」は、②項を申請した場合の受講料です。①項の場合は実質受講料が上がります。

# 講座カリキュラム

1 回 目	3月 12日 (木) 13:00～17:00	現状分析
	分析・設計技法	1. 目的と意義及び定義
	現状分析	2. 現状分析の実態と問題 3. 現状分析の技法 ( I / O 棚卸・個人別職務分析・問題点棚卸・KJ法)
2 回 目	3月 19日 (木) 10:00～17:00	現状分析技法の演習
	分析・設計技法 実習	個人別職務分析、問題点棚卸
	個人別職務分析	
3 回 目	3月 26日 (木) 10:00～17:00	現状分析技法の演習
	分析・設計技法 実習	K J 法、問題点棚卸
	K J 法	
4 回 目	4月 2日 (木) 13:00～17:00	基本設計方針(案)の作成方法
	分析・設計技法	1. 問題点のまとめ
	基本設計、詳細設計、データ構築	2. 職務分析による人員削減効果 3. 問題点一覧（設計消し込み用途） 4. サブシステム毎の設計方針 設計技法 1. 基本設計の目的、技法 2. 詳細設計の目的、技法
5 回 目	4月 9日 (木) 13:00～17:00	定着化分析技法
	定着化&効果測定技術	1. 目的と意義及び定義
		2. 生産管理システムの定着化実態 3. システム定着化分析法の種類 4. 問題点棚卸 ①目的・意図の認識度 ②組織機能の定着化 ③運用オペレーション定着化 ④情報精度 ⑤自動化率・マニュアル要因調査⑥在庫低減進捗
6 回 目	4月 16日 (木) 13:00～17:00	定着化検証会(改善勧告報告会)
	定着化&効果測定技術	1. 定着化検証会の目的と実施要領 2. 定着化検証会の報告書の実例 3. 定着化検証会の報告書（雛形）の説明
		効果測定技法 1. 目的と意義及び定義 2. 生産管理システムの効果認識の実態 3. 職務分析と人員削減効果測定 4. 材料費比率分析による材料費削減 5. 在庫低減効果測定 6. 金額換算出来ない定量・定性効果 7. 効果測定報告会
7 回 目	4月 23日 (木) 10:00～17:00	1.業務運用事例を「定着化技法」を使用して、「定着化報告書」を作成
	定着化&効果測定技術 実習	2.「効果測定技法」を使用して「効果測定報告書」を作成
	発表	
8 回 目	4月 30日 (木) 13:00～17:00	1.各自「成果発表」プレゼン
	総括	2.「総括」説明
	分析／設計／定着化&効果測定技術	